

はにぽんチャレンジ対象事業

今年度のがん検診等は受けましたか？

★健康推進課 ☎24-2 0 0 3 ・ ①19304

受診には、**受診券（4月に桜色の封筒で送付）**が必要です。受診できる検診の種類や対象年齢等、詳しくは受診券に同封した「がん検診等のお知らせ」をご覧ください。対象の方で受診券がない方は、健康推進課までご連絡ください。

i 集団検診の予約はお早めに

集団検診のうち、乳がん・子宮頸がん・肺がん・胃部X線（バリウム）検診は、予約枠に限りがあります。希望者は早めの予約をお願いします。
※乳がん・子宮頸がん検診は指定医療機関での個別検診も実施しています。

はにぽんチャレンジ対象事業

医療機関でも特定健診を実施中！忙しい方こそ早めの予約を

★健康推進課 ☎24-2 0 0 3 ・ ①14985

特定健診は、健診センターか指定の医療機関で受診ができます。受診中の方は、かかりつけ医で受診できる場合がありますので、確認してみましょう。

i 特定健診について

対象 次のいずれかに該当する方
・40～74歳の市国保加入者
・市内在住で後期高齢者医療制度の加入者

費用 無料

【注意事項等】

- ・昨年度から、医療機関で受診するための受診券（はがき）は発送していません。4月に水色の封筒で発送した受診券（A4用紙）をご利用ください。
- ・対象の方で受診券がない方は、健康推進課までご連絡ください。

本庄市のがん検診等は
・加入している医療保険に関係なく
・年度内に1人1回
受けられます。

i 今年度から胃内視鏡（胃カメラ）検診と歯周疾患検診の対象者を拡大

■歯周疾患検診（※20・30歳が追加）

※歯周疾患検診は、はにぽんチャレンジ対象外です。
対象 20・30・40・45・50・55・60・65・70・73歳の人（令和8年4月1日時点）

自己負担額 無料

受診方法 指定歯科医院で受診

■胃内視鏡（胃カメラ）検診（70・72・74歳が追加）

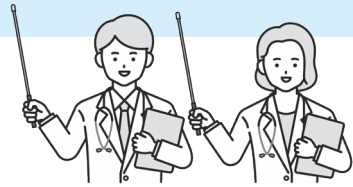
対象 50～74歳のうち偶数年齢の人（令和8年4月1日時点）

自己負担額 3,000円

受診方法 指定医療機関で受診

※がん検診等について、詳しくは市HPでもお知らせしています。

- ・特定健診は、**個人で受けると約12,000円かかる検査が無料**で受けられます
- ・日頃通院している方も違った視点から健康を確認できる機会です。年に一度は健診を受けましょう



i 特定健診を受けるには

健診センターで受診

今ならまだ年内の予約枠に若干空きがあります。希望者は早めのご予約を。

▶**予約専用電話** ☎0120-104-619（平日午前9時～午後5時15分）

▶**WEB予約** <https://honjo-kenshin.jp/> または右記コードから



指定医療機関で受診

指定医療機関で直接予約をしてください。
※指定医療機関は市HPで確認できます。



医療メモ

中年女性のヘルスケア

本庄市児玉郡医師会広報部

一 月経困難症・PMSのホルモン治療と避妊用ピル

更年期の少し手前、40歳前後から50歳くらいまでの中年期になると、女性ホルモンの分泌が不安定になってきます。このため、月経不順、月経痛、経血量の増加、月経前のイライラや体調不良（月経前症候群：PMS）などを感じやすくなります。一方で妊娠の可能性もまだ残るため、出産を望まない場合には避妊にも注意する必要があります。今回は、この年代の女性に適するホルモン治療と避妊法について説明します。

月経痛やPMSの治療で最も使われるのが治療用のピルです。いわゆるピルは、女性ホルモンの中心であるエストロゲンと、排卵を抑えたり子宮内膜を安定させたりするプロゲステンを組み合わせた薬です。ピルを服用することで、月経にかかわる症状の軽減と避妊の効果の両方が得られます。副作用として、吐き気、頭痛、血栓症などがあります。重い頭痛持ちの方、喫煙者、40歳以上の方などでは、特に血栓症のリスクが高まるため、ピルが適さない場合があります。そこで次の選択肢となるのが、プロゲステン単体の薬です。ピルにみられる副作用が少ないため安心して使える方が多く、人によってはピルよりも効果的なこともあります。

また、内服薬以外の治療法として「ミレーナ」というプロゲステンを含んだ小さな器具を子宮内に挿入する方法があります。ピ

ルと同じように月経痛などの症状と避妊にとっても有効です。さらに子宮に直接薬が届くため全身への副作用はほとんどありません。挿入時の痛み、挿入後のおりものや不正出血などの副作用がありますが、軽く済む方が多いです。出産経験のない方や子宮筋腫などで子宮の形が変化している方では使用できない場合がありますが、多くの中年女性に適した治療法です。

避妊を目的とする場合には、避妊用のピルを服用する、または避妊目的として「ミレーナ」を挿入するなどができます。避妊目的の場合には自費診療になります。それぞれの副作用は前述と同じです。副作用を心配してピルを控えた結果、計画外に妊娠してしまうことは防がなければなりません。最近では、副作用の少ない避妊薬として「スリンダ錠」が使用できるようになりました。これはプロゲステンのみを含む薬で、ミニピルとも呼ばれます。不正出血や月経不順がやや起きやすいですが、そのほかの副作用が少ないのが特徴で、40歳代や喫煙者でも使いやすい避妊薬といえます。

年代を問わず、月経の諸症状や避妊の不安で悩む方は、産婦人科医に相談してみてください。



休日・夜間の急病のときは…

▶本庄市児玉郡医師会立本庄市休日急患診療所

☎23- 3 3 2 2

本庄市保健センター内で、内科系の比較的症状が軽く、入院の必要がない方の診療を行います。
※診療以外に関する問い合わせ・電話相談はご遠慮ください。

▶診療日と受付時間

◆日曜・休日・年末年始（12/30～1/3）

①午前9時～正午、②午後1時～4時、③午後7時～9時45分
※①②では発熱外来を行っていますが、時間内で診察できる人数には限りがあります。

◆平日木曜日夜間 午後8時～9時45分

▶**用意** マイナ保険証、資格確認書または有効な健康保険証

▶在宅当番医療機関 ▶診療時間 午前9時～正午

10月5日(日)	池田レディースクリニック	小島南3丁目	☎22- 2 0 4 8
10月12日(日)	彩の丘クリニック	上里町神保原町	☎71- 7 1 6 6
10月13日(祝)	彩北病院	小島5丁目	☎21- 0 1 1 1
10月19日(日)	あたご山クリニック	中央1丁目	☎22- 8 7 3 3
10月26日(日)	黒岩整形外科医院	上里町七本木	☎34- 0 5 5 1
11月2日(日)	恵南クリニック	見福2丁目	☎24- 0 0 0 8
11月3日(祝)	本庄皮膚科医院	銀座3丁目	☎22- 3 2 3 3
11月9日(日)	したら眼科クリニック	上里町金久保	☎33- 8 3 3 3

※受診の際は、事前の電話連絡をお願いします。

▶困ったときは電話相談（24時間・年中無休受付）

ほんじょう健康相談ダイヤル24（相談料・通話料無料）

☎0120-122-885

健康・医療・出産・育児・介護などの相談、医療機関情報の提供を行います。（市内在住者が対象）

埼玉県救急電話相談（通話料利用者負担）

☎# 7119

救急医療相談に看護師が対応します。健康相談・育児相談には対応しません。（大人・小児共通）

※IP電話、ひかり電話、ダイヤル回線からは☎048-824-4199 下記の電話番号からも救急電話相談が利用できます。
○小児救急電話相談 #8000 または☎048-833-7911

★119番は緊急時（火災やけが人など）の受付専門電話番号です。医療機関の情報は、[児玉郡市広域消防本部指令課☎24- 1 1 1 9](#)でご案内します。診療科目によっては県外や本庄市・児玉郡以外の病院をご案内する場合があります。